

傷病者の意思を尊重し  
より質の高い救急活動を目的とした  
DNARプロトコールの運用開始について

神戸市メディカルコントロール協議会

神戸市消防局

菊池 悠



# 背景

## 神戸市での活動

(令和5年3月まで)

119通報 **＝** 救命の意思あり

➔ 救命のために最善を尽くす

## 社会的背景

- ・ 高齢者救急需要の増加
  - ・ 自己決定意識の上昇、看取りやACPの概念
- ⇒心肺蘇生を望まない傷病者からの救急要請増加傾向
- ⇒蘇生拒否、DNAR対応に苦慮

# DNAR検討部会（神戸市MC協議会内）

令和3年8月～ 検討開始（1年8カ月間・計6回）

## 委員

- ・ 医師（一次～三次医療機関）
- ・ 福祉関係者
- ・ 市民団体（婦人団体協議会）
- ・ 弁護士
- ・ 消防職員

## 内容

- ・ DNAR意思表示の確認方法（誰から、どのように）  
DNAR活動の難しさ、法律面...実効性  
→ 『神戸市DNARプロトコール』 を策定



# D N A R プロトコール

BE KOBE

呼吸及び脈拍無し  
救急隊から蘇生に関する意思確認

生前の本人の意思  
を積極的に確認

心肺蘇生を望まない意思表示あり

意思表示については  
口頭のみでも可能

状況確認・除外項目の判断

MC医師への連絡は必須  
「かかりつけ医の指示  
に従って良いか」

MC医師へ指示要請

確認事項は、  
・ DNAR意思表示  
・ 想定病態との合致  
・ 蘇生中止可能か

かかりつけ医へ連絡

30分以内に往診可能  
⇒ かかりつけ医に引き継ぎ  
30分～12時間の間に往診可能  
⇒ 家族等に引き継ぎ

往診の可否を確認

かかりつけ医の応答無し  
MC医師へ連絡  
状況によってはMC医師が  
蘇生中止指示を出すことも

往診に12時間以上かかる  
⇒ 医師・救急隊が搬送先選定  
(蘇生中止)

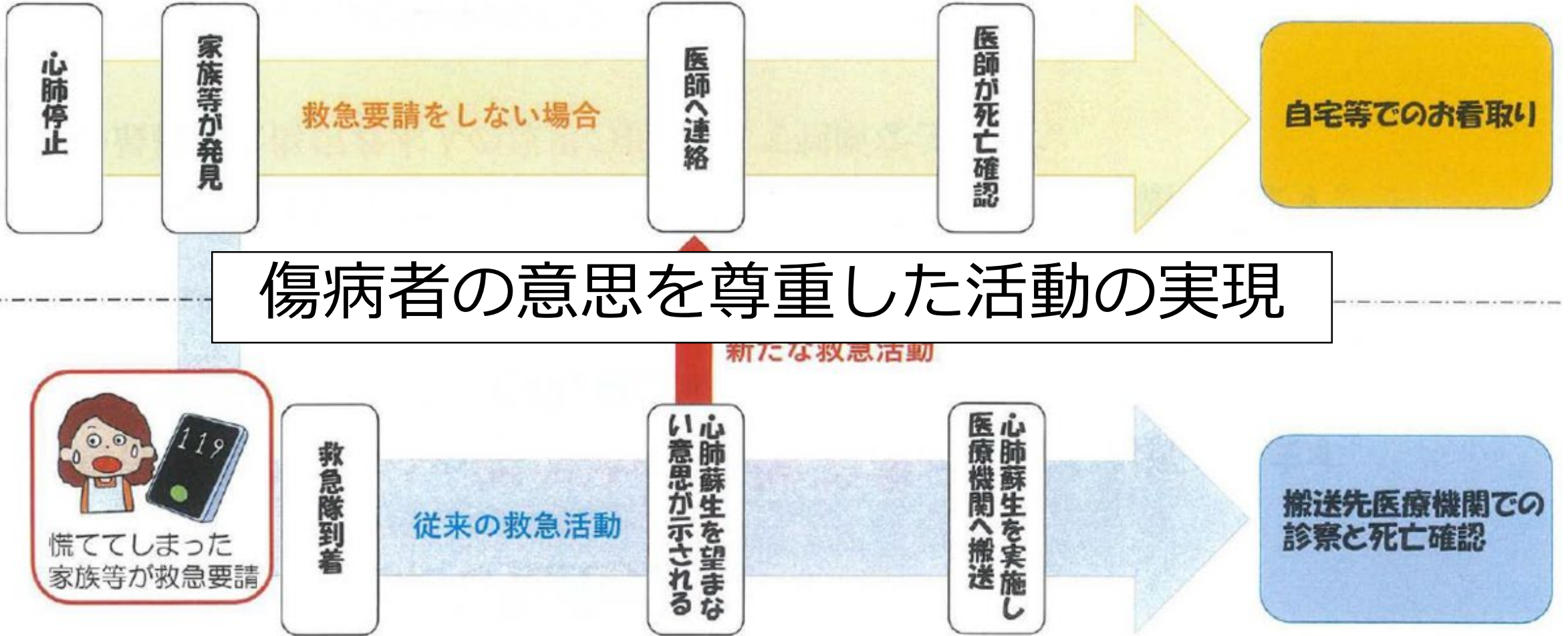
30分以内

30分～12時間

12時間以上



# プロトコール後のDNAR活動の変化



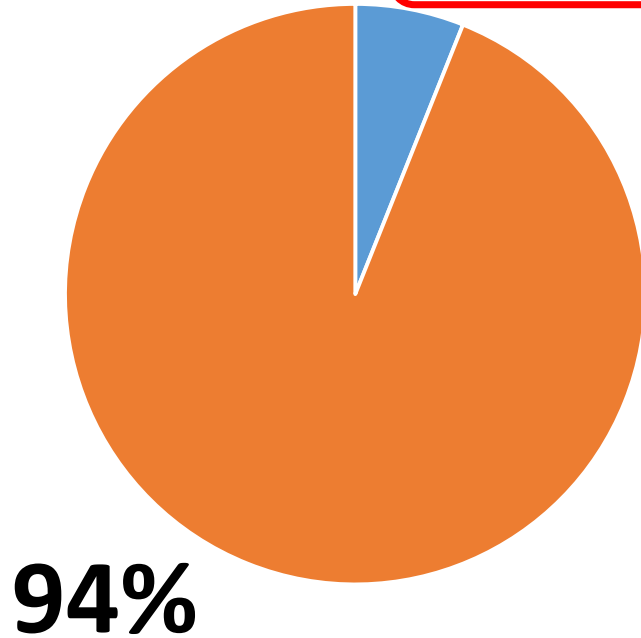
# 実施状況（蘇生中止率）

※7ヶ月データ

CPA事案中DNAR意思表示

(N=760)

**6%(46件)**



■ 有 ■ 無し

蘇生実施状況

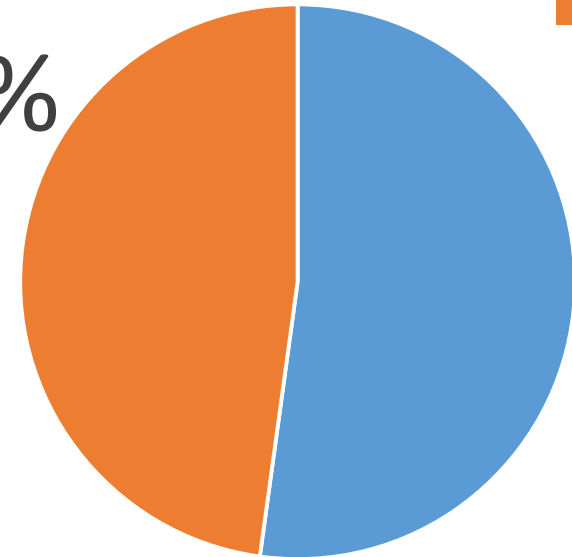
(N=46)

48%

■ 蘇生中止  
■ 蘇生継続

**52%**

約半数が中止



# 実施状況（引継ぎ相手）

※7ヶ月データ

かかりつけ医へ連絡・蘇生中止

往診の可否を確認

30分以内

30分～12時間

12時間以上

⇒医師に引継ぎ ⇒家族等に引き継ぎ ⇒病院搬送(蘇生中止)

かかりつけ医連絡を考慮 …30例/46例

そのうち連絡がついた …29例(96.7%)

その内、中止の指示 …24例

かかりつけ医の協力が大きい

蘇生中止後の引継ぎ先 (N=24)

50%

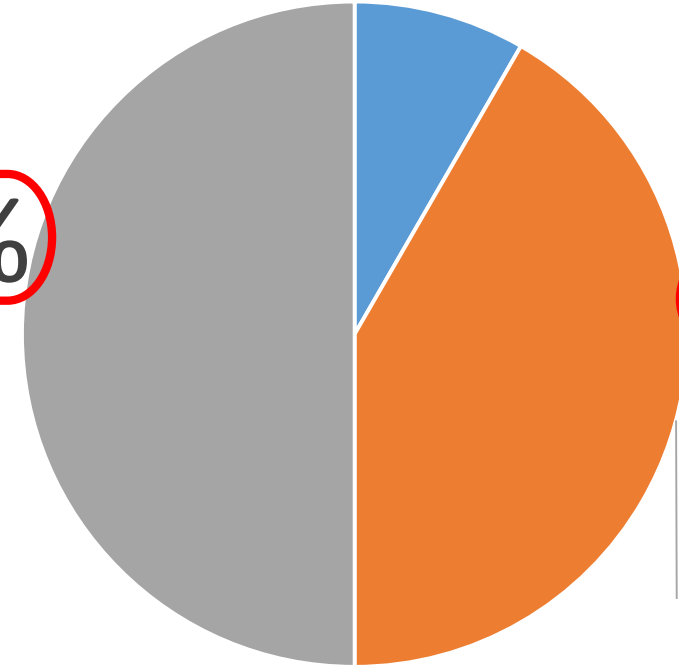
8%

医療機関搬送

42%

■かかりつけ医

■家族等関係者



# まとめ・今後

神戸市消防局

生前の本人の意思を積極的に確認  
傷病者の意思を尊重し寄り添える活動  
PDCAを回していく

地域包括体制

蘇生中止の意思表示（46例）  
蘇生中止（24例） ⇒ 病院搬送（12例）  
➡ 本当に傷病者が望む姿？  
関係者のみで看取る

